

イキイキ こだつの

第 59 号 2019年 7月号

発行 / 編集
小立野公民館広報
金沢市小立野4-7-51
TEL 221-0807

地域に支えられた学校、伝統を大切に

金沢市立紫錦台中学校
校長 山田辰也

昨年度本校は創立70周年を迎え、同窓会主催による記念パーティーが盛大に行われました。その会に参加し改めて、紫錦台中学校が多くの地域の皆様や同窓生の皆様に愛され、支えられていることを実感しました。私自身も、教員生活をスタートした本校に30年ぶりに昨年再び赴任することになり、昔と変わらない校門・校舎に入って、同窓生のような気持ちとともに、新たに「初心忘れる勿れ」という言葉を肝に銘じました。

さて、本校は20年前から総合的な学習の時間を「飛梅タイム」と称し伝統文化、国際理解、環境などに取り組んでいます。その中で伝統文化の部分では地域の方々にお世話いただき、指導をしていただいています。その発表の場である「飛梅祭」も充実したものになっており、金沢らしい様々な芸能・文化があります。現在は、その段取りやコーディネートを学校地域支援協働本部として地域コーディネーターの方にお願ひし、地域の方々に助けていただいています。9年目を迎えるこの制度は、過去3回名称を変えて継続され、本校を支える重要な役割を担っていただいております。

その活動は幅広く、「飛梅タイム」の伝統芸能だけでなく、図書ボランティア、あいさつ運動、防災訓練に向けて町会の割り振り、

避難場所の案内など、KOB活動の準備の手配、生徒を支える餅つきイベントのヘルプなど多岐に渡って地域と繋いでいただいています。公民館や町会連合会の皆様の支えの隙間をPTA役員の皆様と共に埋めてもいただいています。地域の中の学校であることを子どもたちも認識してくれていることと思います。御山まつり、公民館の文化祭や催事への参加、大学生による絵画指導も生徒の地元意識を高めることに繋がっています。

昨年度は本校美術部が金沢市の第39回岡文化賞の美術部門を受賞しました。その選考理由が地域とのつながりがわかる活動内容が評価されたものでした。日々の地域の行事の中で生徒が感じ、自分の思いを表現することなどを通して生徒の健全な成長に繋がっている結果だと考えられます。

このように、保護者の皆様をはじめ、地元の皆様の子どもたちを大切にする姿勢・風土に支えられてこそその本校の教育活動であり、生徒たちも健やかに育っていることと思います。これらの思いを大切にしながら、伝統を踏まえて、新たな時代に生きる生徒・たくましく生きる生徒を育てられるよう学校経営を進めて参りたいと思います。これからもどうぞよろしくお願ひします。

祝 表彰

〈金沢中防犯協会・金沢中警察署〉

防犯功労者表彰

牧 孝明氏 (二十人町町会)

(令和元年6月4日)

7月の行事予定

12日 (金) 小立野いきいき健康教室
「齋藤先生と楽しいひと時」
16日 (火) 高齢者学級「お口の健康」
23日 (火) 星をみる会 (青年児童部主催)

30日 (火) 高齢者学級・史跡めぐり共催
「寺町寺院群 月照寺・玉龍寺」
※タクシー代500円を添えて
要申込 (締切7月23日)

小立野フィールド・ミュージアム

【辰巳用水異聞】

藩政期寛永8年（1631）法船寺門前の放火により金沢城を含む1,000戸に及ぶ大火災があり、翌9年犀川上流辰巳村より小立野台地先端の金沢城に防火・防衛の川水を通し、内堀と外堀に水が満たされました。現在も辰巳用水は変わらず流れ、平成22年2月22日に国史跡に指定され、平成25年3月27日には辰巳用水^{つけたり}付土清水塩硝蔵跡も指定を受けました。

辰巳用水は小立野寺院群の天徳院を中心に寺領の周囲に水堀がめぐっています。亀坂分水は勘太郎川として本多町を流れ、石引分水は木曾谷を流れて源太郎川として浅野川に合流、石引通りを流れ下る水は兼六園の曲水と金沢城に流れ、城の中を抜けて大手堀から金沢の平野部へと流れていきます。

金沢は森の都であり、水の都で用水は防火用です。導水管は3代利常の時代は木樋だったが、13代藩主齊泰公の頃から一部が富山の金屋石を加工した石管に取り替えられました。歴史博物館の外には当時の石管を利用したモニュメントがあり、誰でも気軽に見ることができます。



辰巳用水石管（旧金沢藩医学館の前庭）

金沢市内には55本の用水が流れており、金沢市役所のパンフレットにも絵図が載っています。

私の町内では、金沢城に送水する木樋が歩道工事の際に発掘されたことがあります。利常の頃に二の丸に送水するために使われた木樋で、コの字型の樋に折れクギで留められた見事な送水管でした。県埋蔵文化財センターに保管されていて、学習仲間と見学に行きました。石管や木樋の見学会を開きたいと思っています。

（中島 勇）

小立野校下 史跡めぐり (48)

【市内めぐり「金沢城と尾山神社」】

6月11日（火）石川門前に集合、梅雨晴れのなか24名が参加しました。

まいどさんの武野一雄氏（三交会）の引率で出発。三の丸広場に入り最初の河北門では、階段を上って二の門の中へ。次に外から周りの景色を見ました。ここからの景色は素晴らしく、観光スポットになっています。

再び広場に下りて、五十間長屋の鉄砲用の窓と鉛瓦屋根の説明を聞き、鶴の丸へ移動。休憩所の前には鉛瓦葺きの構造が展示されており、それを見てから二の丸広場へ。ここで幼稚園児が先生の引率のもと、きれいに2列に並んで歩くのが見えて、可愛らしかったです。その後も行く先々で会いました。

極楽橋では、昔金沢御坊を参詣する人が念仏を唱えながら渡ったと説明を受けました。次に明治時代の第六旅団司令部の建物の手前を通り、前にそびえる石垣のところで止まりました。この石垣は上から水が落ちていたところです。ここは玉泉丸庭園のてっぺんで、上から庭園の全体を眺めました。その後、復元中の鼠多門を見学。目の前で屋根を葺く工事をしていて、建物の木材の組み立ての見本がありました。次に三十間長屋を上方に見て尾山神社へ。道を横断の時、鼠多門から尾山神社へ渡る建築中の橋が見えました。

東神門は金沢城旧二の丸唐門で桃山風御殿様式とされ、宝暦9年（1760）金沢の大火の時、城内の大半が焼失したが、この唐門に彫刻された二頭の龍が水を呼び類焼を免れたと伝えられています。続いて金谷御殿の庭園（池泉式回遊式庭園）を見ました。現在の尾山神社は、かつて金谷丸という金沢城の一部でした。神門は明治8年（1875）の建築で和漢洋の三様式と聞き、みんなで境内で参詣をして解散しました。武野さんは写真や図を使い余談も話され、楽しく終わりました。

（押野 幸雄）

高齢者学級ありがとう

学級生 広島 明臣

幸運にも恵まれ、平成28年から3年連続で高齢者学級から皆勤賞をいただきました。年度始め開級式にいただく年次日程表を拝読し、学級参加への意欲を膨らませてきました。行事計画に伴う企画と交渉、そして実行など、公民館前主事の清水さん、引き継がれた川尻さん、いつも学級への心配りありがとうございます。そして学級長の道法氏ご夫妻の人柄と熱意にも感謝です。

この3年を振り返ると当時の思い出が甦ります。県立能楽堂舞台での体験、加賀友禅由水工房の見学、新幹線白山総合車両所の見学、また県外バス研修では、岐阜城周辺の散策や白骨温泉での一浴、飛騨大鍾乳洞一周、

その他、関ヶ原古戦場巡りなどなど。また講義や実技として地元の福光屋さんの酒業界と老舗の講義や菓子処なかむらさんの和菓子作り、郷土史学会幹事の横山方子氏の講話、藩主前田家、そして郷土の歴史を丁寧に学ぶことができました。社会の関心事、認知症、特殊詐欺、食品の安全などのお話もありがたく参考になりました。脳トレの色遊びや園芸の苔玉作りも楽しみました。史跡めぐりでは、寺院群の探訪、城下町巡りなど、色々と歴史も学ぶことができ見聞を広めました。90歳代でも元気に学級へ参加される方々にはいつも励まされます。令和元年度、また1回でも多く学級に参加し、学級の皆様の輪に入り、楽しみながら学ぶことができます様願っております。

小立野婦人学級

学級長 小池 節美



5月24日、第46回婦人学級の開級式を小立野公民館で行いました。開級式では、金沢市長山野之義氏の「市政130年に向けて」の講演があり、わかりやすいお話で皆様にとっても好評で喜ばれまし

た。婦人学級は昭和49年に生涯学習の場として開設され、昭和・平成・令和と三時代46年を迎えることができ感無量です。「郷土の歴史を知り心豊かな生活をしよう」とのテーマのもと、約100名の学級生と共に学習に励んできました。今年度は、エネルギー問題や時事問題、NHKの気象予報士池津氏や郷土史家横山氏の講義も予定しています。今後とも皆様方のお力添えをお願いします。

城東地区公民館スポーツ交流会 内川スポーツ広場 令和元年6月9日(日)

【ソフトボール大会】



準優勝 小立野公民館

9チームが参加して行われました。小立野公民館チームは予選で大差をつけて2勝し、決勝戦へ。決勝では崎浦公民館と一進一退の攻防を繰り広げましたが、惜しくも1点差で優勝を逃しました。

【対戦結果】

予選 医王山 4対23 小立野
小立野 22対3 俵
決勝戦 小立野 10対11x 崎浦

【グラウンドゴルフ大会】

9公民館から48名が参加し、男女混合で試合が行われました。小立野公民館からは5名が参加、プレーを通して交流を深めました。

入賞

4位 高野 健三氏
(旭親会下町会)



～ 2019年度 小立野公民館各種教室のご案内～

お問い合わせ先 TEL(221)0807

【婦人対象】

教室名	曜日	時間	講師	月謝
謡曲宝生流	月3回火	AM 10:00	平沢先生	3,500円
生け花池坊	月3回水	AM 10:00	松本先生	3,000円
茶道裏千家	月3回水	AM 10:00	中村先生	3,500円
歴史教室	第2水	AM 10:00	中野先生	3ヶ月 3,000円
婦人書道	第2・4土	AM 9:30	山崎先生	3,000円

【高齢者対象】

教室名	曜日	時間	講師	月謝
民謡	第1・3水	PM 7:30	麻下先生	3,500円
詩吟	毎週金	PM 7:30	酒井先生	2,000円

【小・中学生、一般対象】

教室名	曜日	時間	講師	月謝
ヴァイオリン	毎週月・火・水・金	PM 1:00	下川先生	10,000円～
書道・書写(えんぴつ)	毎週月・土	PM 1:00	小倉先生	5,000円～
祐門会(能面)	第2・4月	PM 6:00	後藤先生	10,000円
	第2・4土	PM 1:00		
おりーぶ(英語・算数)	毎週火・水	PM 3:00	中村先生	4,000円～
ヨーガ	毎週木	AM 10:00	高桑先生	3,000円
リボンレイ教室	第3木	AM 10:00	西田先生	1,900円(材料費別)
絵手紙教室	第2木・第4火	AM 10:00	矢野先生	1,000円～
絵画教室	毎週金	AM 9:30	瀧川先生	5,000円
コーラスグループすみれ	月2回金	PM 1:30	村上先生	4ヶ月 3,000円
オカリナ(水曜教室)	第2・4水	AM 10:30	竹川先生	3,670円
オカリナ(木曜教室)	第2・4木	PM 1:30	宮本先生	3,670円
ギター同好会	第2・4金	AM 10:00	富原先生	4,000円～
そろばん	毎週火・木	PM 3:00	木谷綜合学園	6,500円
	毎週土	AM 9:30		

【小立野ふれあい地域子ども教室】

教室名	曜日	時間	講師	年会費	対象
ジュニアサッカークラブ	毎週月	PM 4:30～ 6:30	北山・宮口・大塚先生	6,000円	小1～

編集後記

公民館では、今年もたくさんの行事が計画されています。皆さんに興味を持っていただけるよう、紹介していきたいと思っております。